

01 マイナンバーカードの普及・利用の促進

【R9に向けた目標】

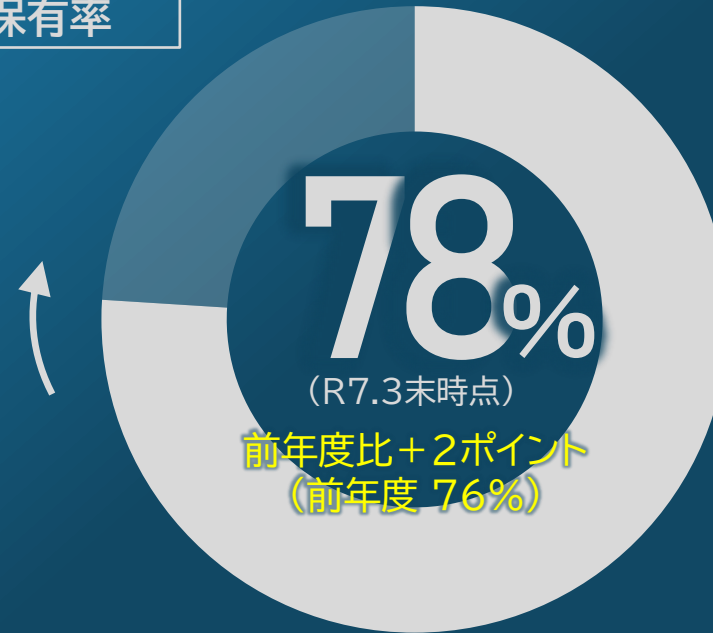
マイナンバーカード普及率
ほとんどの市民がカードを保有



KitaQ DX

デジタルで快適・便利な幸せなまちへ

保有率



30 万枚超

前年度比+3万枚
(前年度 27万枚)

証明書 コンビニ交付

約30倍
(H29→R6年度)
(前年度 29倍)

0.9 万枚

H29

H30

R元

R2

R3

R4

R5

R6

全交付件数の

約27%
前年度比+3ポイント
(前年度 24%)

窓口発行件数

▲34%
(H29→R6年度)
前年度比±0ポイント
(前年度 ▲34%)

02 フロントヤード改革の推進

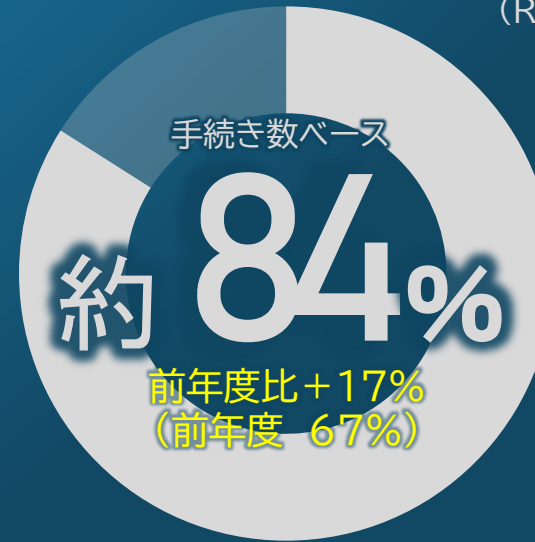
【R9に向けた目標】

デジタルを導入した
市民サービス市民活用度 80%以上



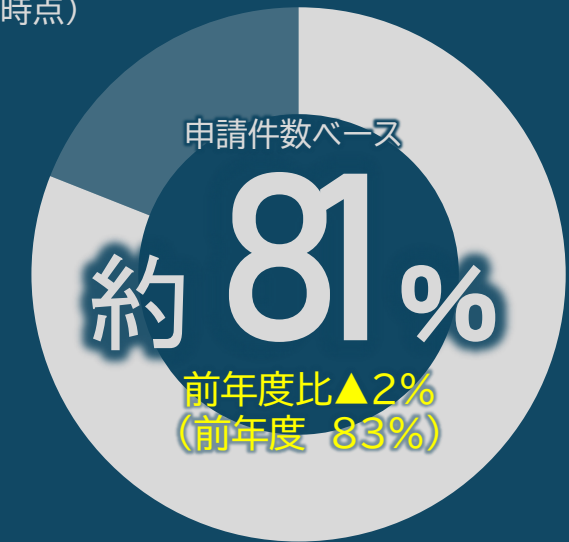
手続きオンライン化率

(R7.3末時点)



2,260 手続き中、1,900 手続き

前年度比+282手続き(前年度 2,420手続き中、1,618手続き)



410 万件中、330万件

前年度比▲20万件(前年度 420万件中、350万件)

ネットで手続きガイド

(R7.3末時点)

8種 のライフイベントに
合わせて
必要な手続きを案内

前年度比±0種(前年度 8種)



子育て応援アプリ

(R7.3末時点)

アプリで
妊娠届提出



03 デジタル・デバйд対策

【R9に向けた目標】

デジタルを導入した市民サービス
市民活用度 80%以上

(R6北九州市情報化アンケートにおける
デジタル導入した市民サービスの市民利用率 62.0%)



デジタル活用講座

40 講座実施

前年度比▲1,204講座
(前年度 1,244講座)

564 名参加 (R6年度)

前年度比▲14,418名
(前年度 14,982名)

※令和5年度は文科省「情報通信技術講習事業費補助金」を活用して大々的に実施
(補助金交付を受けず実施した令和4年度と比較すると、10講座、252名増)

延べ 1,339 講座実施

16,106 名参加
(R3年度～)

04 BPR(業務改革)の取組の徹底

【R9に向けた目標】

窓口職員の作業時間削減 50%以上



市役所の業務量調査

(R3年度)

354課

1,474係

の業務

59,000業務

1,320万時間分



調査結果をもとに定型・大量業務を集約した
「北九州市行政事務センター」を開設(R6年度)

北九州市行政事務センター

(R6年度～)

区役所窓口手続き
ノンコア業務を集約・集中処理

集約対象業務

作業削減時間

2手続き

(R7.3末時点)

▲7,045時間/年間

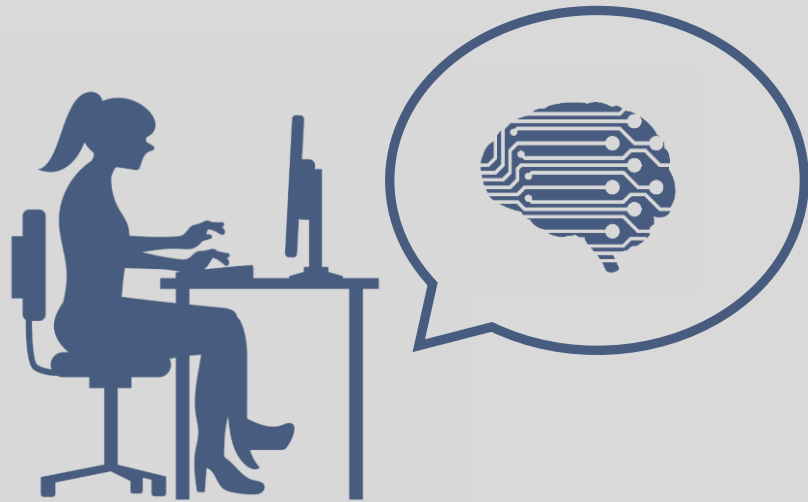
(R7.3末時点)



05 AIなど先端技術の利用促進

【R9に向けた目標】

- ・事務作業時間の削減
年間合計 150,000時間削減
- ・AI×データ活用プロジェクトの創出 2件以上



デジラボ

AI・RPAで集約・集中処理

- ・ AI議事録作成支援
- ・ AI-OCRサービス
- ・ RPA集約処理

年間作業時間
(R6年度)



ローコードツール活用

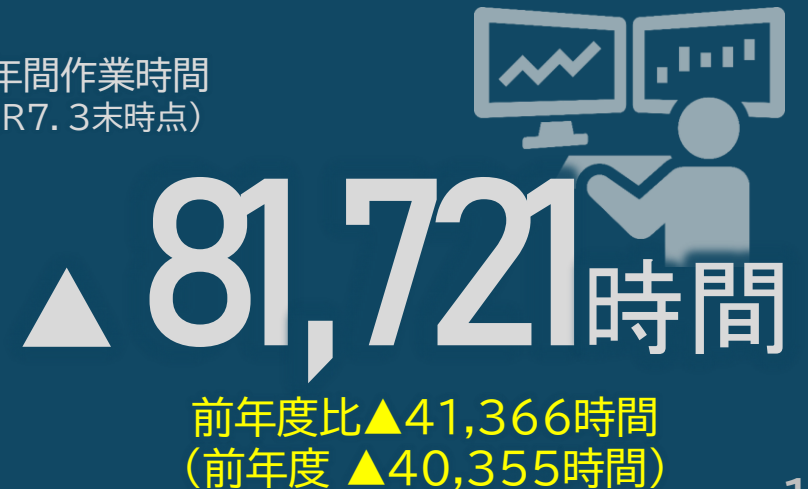
職員自らシステムを内製化

開発したシステム数(累計)
(R7. 3末時点)

544システム

前年度比+237システム
(前年度 307システム)

年間作業時間
(R7. 3末時点)



06 データの利活用

【R9に向けた目標】

- ・防災GISの検討→運用
- ・庁内データの利活用による解決モデルの定着



オープンデータ

公開データセット数

646件

(R7.3末時点)

前年度比+7件
(前年度 639件)



統合型GIS

共有マップ数

212マップ

(R7.3末時点)

前年度比+37件マップ
(前年度 175マップ)



データ利活用

伴走支援件数

17件

(R6年度)

前年度比+13件
(前年度 4件)



07 働き方改革

【R9に向けた目標】

紙の使用量削減50%以上
(令和5年度比)



オフィス改革

本庁舎3階(政策局、危機管理室)で本格実施



08 丁寧で分かりやすい広報・PR

【R9に向けた目標】

デジタル導入した
市民サービス市民認知度 90%以上

(R6北九州市情報化アンケートにおける
デジタル導入した市民サービスの市民認知度 74.4%)



出前講演等

26回実施

(R6年度)

前年度比+20件(前年度 6件)



視察受入

27自治体

(R6年度)

前年度比+8件(前年度 19件)



広報・PR

SNSを活用したPR動画配信
(スマらく窓口)



小倉駅デジタルサイネージを
活用した広報動画放送



09 セキュリティ対策の徹底

【R9に向けた目標】

セキュリティ対策を図り、
適切な個人情報保護に取り組む



(R4.4)

セキュリティ 担当ライン新設



(R5.4施行、R7.4改定)

情報セキュリティ ポリシー改定



10 デジタル人材の確保・育成

【R9に向けた目標】

DX人材育成

全職員の3分の1がDX推進リーダーに



人材確保

デジタル専門人材の採用

地域活性化起業人

11名採用

(R4～6年度)

(R6年度採用 3名)

7名受入

(R4～6年度)

(R6年度受入 5名)



人材育成

DX人材育成プロジェクトを立上げ(R5.10)

DX変革リーダー



R6年度
KitaQ DXスクール



約1450名選出

(R5～6年度)

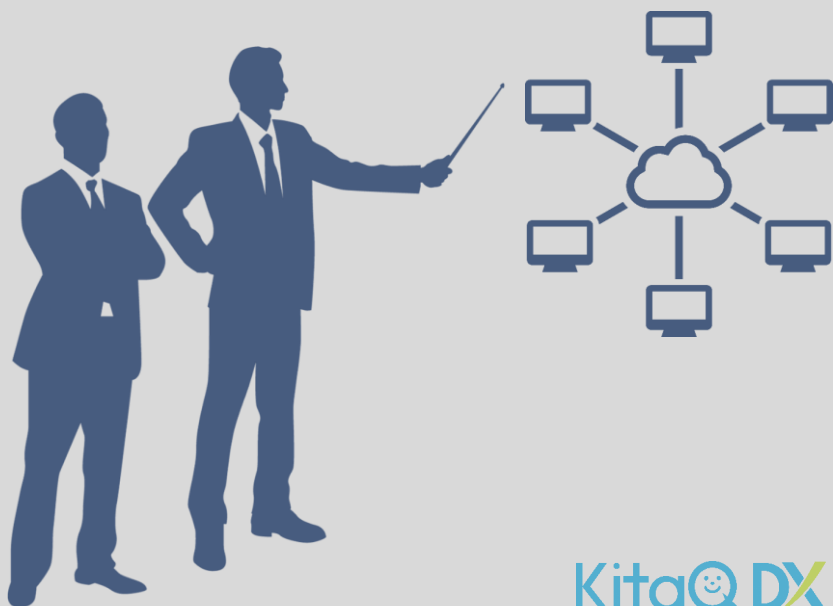
前年度比+700名(前年度 750名)

13講座開催

前年度比+2講座(前年度 11講座)

【R9に向けた目標】

令和9年度末を目標に
標準準拠システムへ段階移行



20業務の 標準準拠システム移行に向けた準備



クラウド共通基盤の構築



北九州課題快傑バスターズ始動！～スタートアップで北九州市を変える～

民の力を活用した共創による課題解決促進・新たな価値や事業機会の創出



PoliPoli Gov上で募集した意見件数 423件

→AIを活用した分析を行い、321件の課題として整理し、市のホームページに掲載